

令和6年度 第1回  
区長定例記者会見

令和6年5月30日

 葛飾区



# 目次

令和6年度第二次補正予算編成にあたってのポイント .....	3
補正概要 .....	3
補正予算案の主な項目	
【1】区内のバス交通の維持・充実を図るためにバス事業者への支援を行います .....	5
【2】運転免許証自主返納者への支援制度を新設 .....	6
【3】小児インフルエンザ予防接種の費用助成を拡大します .....	7
【4】新型コロナワクチン定期接種を無償化します .....	8
【5】プレミアム付商品券を追加販売します .....	9
【6】かつしかPAY（デジタルプレミアム付商品券）を増刷します .....	10
【7】キャッシュレス決済で最大15%還元 .....	11

## 葛飾のココに注目！

（補正予算案以外のトピックス）

【8】防犯対策助成を共同住宅向けにも拡充します .....	13
【9】「くらしのまるごと相談窓口」を開設して1年が経ちました .....	14
【10】全国の小中学校に広がる新聞配備の新技术「葛飾方式」が注目されています .....	16

# 令和6年度第二次補正予算編成にあたってのポイント

2024年問題に伴うバス事業者支援に要する経費として、**3,500万円**を計上

高齢者運転免許自主返納支援に要する経費として、**1,500万円**を計上

予防接種費用助成の拡大に要する経費として、**10億1,500万円**を計上

- ◇小児インフルエンザ予防接種助成拡大（9,300万円）
- ◇新型コロナ予防接種助成（65歳以上無償）（9億2,200万円）

商店街振興及び消費喚起策に要する経費として、**14億4,100万円**を計上

- ◇プレミアム付商品券追加発行（2億6,200万円）
- ◇デジタルプレミアム付商品券増刷（5,800万円）
- ◇キャッシュレス決済ポイント還元（11億2,100万円）

このほか、

児童手当・児童扶養手当の拡充（12億2,000万円）など、それぞれ計上しています。

## 補正概要

(単位：千円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額	補正額 B の財源内訳	
	A	B	C (A + B)	特定財源	一般財源
一般会計	243,322,510	4,154,503	247,477,013	1,936,301	2,218,202
国民健康保険 事業特別会計	49,150,000	18,572	49,168,572	10,565	8,007
合 計	292,472,510	4,173,075	296,645,585	1,946,866	2,226,209

# 補正予算案の主な項目

23区初!

2024年問題対策

## 区内のバス交通の維持・充実を図るために バス事業者への支援を行います

交通政策課

予算額 35百万円

自動車運転手の労働基準の改正により、バス事業者では運行ダイヤの維持のために、これまで以上にバス運転手が必要となっています。葛飾区では、バス運転手の確保や定着促進に向けた待遇改善や採用活動を積極的に行うバス事業者の支援を行います。

また、女性が働きやすい職場環境を整えるための費用も支援し、葛飾区内のバス交通の維持・充実を目指します。

### 助成制度の対象と補助額



項目	内容
住居手当・借上住宅費補助 (2,016万円)	主たる勤務地が区内営業所にある大型自動車第二種運転免許保持者の住居手当及び借上住宅を対象とし、1人（戸）あたり月額2万円を上限として、バス事業者に助成します。
人材募集PR等実施事業補助 (1,191万円)	インターネットや情報誌などへの求人広告掲載やチラシ・ポスターの制作、採用イベントの開催や採用セミナーへの出展など、バス事業者が負担する人材募集に関する活動に要した費用を対象に助成します。
女性運転手採用強化支援事業補助 (250万円)	更衣室、休憩室の整備といった女性バス運転手が安心、快適に働くための環境づくりや、女性バス運転手確保につながる取組に対し、バス事業者が負担した金額のうち1/2を助成します。

### 路線バスにおける2024年問題とは？

自動車運転手の働き方改革の一環として拘束時間や休憩時間などの基準が改正され、2024年4月から適用されました。新たな基準の適用により、運転手の労働条件が向上する一方、慢性的な人手不足問題を抱えているバス業界では、路線バスの運行に大きな影響が発生すると考えられています。



# 高齢者の方が関わる交通事故の減少へ 運転免許証自主返納者への支援制度を新設

交通安全対策担当課

予算額 15百万円

運転免許証の自主返納件数は令和元年をピークに減少しています。高齢者が関わる交通事故の減少を目的に、運転免許証を自主返納した方に対する支援制度を新設します。

## 1. 高齢者運転免許証自主返納支援

背景（区内における65歳以上の免許返納者数）	対象及び目標人数	手続き及び支援方法												
<table border="1"><caption>区内における65歳以上の免許返納者数</caption><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和元年</td><td>2100</td></tr><tr><td>令和2年</td><td>1900</td></tr><tr><td>令和3年</td><td>1800</td></tr><tr><td>令和4年</td><td>1350</td></tr><tr><td>目標数値</td><td>2100</td></tr></tbody></table>	年度	件数	令和元年	2100	令和2年	1900	令和3年	1800	令和4年	1350	目標数値	2100	<p><b>対象</b></p> <p>免許返納時に 65歳以上の方</p> <p><b>目標(令和6年度)</b></p> <p><b>2,100人*</b> *自主返納のピーク時 (令和元年)と同程度</p>	<p>警察署・運転免許試験場等 で免許を返納</p> <p>↓</p> <p>区内の警察署、区役所や 区HPで申請書入手して 申請手続きを行う</p> <p>↓</p> <p><b>5,000円分!</b> プリペイドカード贈呈</p>
年度	件数													
令和元年	2100													
令和2年	1900													
令和3年	1800													
令和4年	1350													
目標数値	2100													

## 2. スケジュール

申請手続きは8月から開始（予定）

詳細は、広報紙、区HPやポスターなどで周知予定

## 小児インフルエンザ予防接種の費用助成を拡大します

昨年は東京都が、1999年の都の調査開始以来最も早いインフルエンザの流行注意報を発令するなど、インフルエンザが猛威を振るいました。子どもは大人と異なり2回（13歳以上は1回）の接種が必要であり、子どもが複数おられる家庭などでは大きな家計負担となります。また、学校での集団感染につながることも考えられます。

流行を予防して子どもの健康を守り、看病のために休まざるを得ない親や家計の負担を減らすためにも、小児インフルエンザワクチンの接種費用の助成を拡大します！

### 小児インフルエンザ予防接種の費用助成

内容	対象	令和5年度まで	令和6年度から
小児 インフルエンザ 予防接種	生後6か月から12歳まで (2回接種)  13歳から15歳まで (1回接種)	接種1回あたり 2,000円	接種1回あたり <b>3,000円</b>



**UP!**

# 新型コロナワクチン定期接種を無償化します

令和6年度4月1日以降、新型コロナワクチン接種については個人の重症化予防により重症者を減らすことを目的とし、予防接種法上、季節性インフルエンザと同様の一部自己負担が求められる「B類疾病の定期接種」として位置づけられます。区では**定期接種対象者の自己負担分を無償化します！**

## 新型コロナワクチン定期予防接種

令和6年度から定期予防接種となる新型コロナウイルスのワクチン接種について、**65歳以上の方は 全員無料**で接種できます。

**無料接種対象者：**①65歳以上の高齢者

②60歳から65歳未満の慢性高度心・腎・呼吸器不全者等

**接種期間・接種回数：**秋冬※に1回接種

※インフルエンザ定期予防接種と同じ、令和6年10月～令和7年1月末を想定



### 30歳代と比較した場合の各年代の重症化率

年代	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
重症化率	0.5倍	0.2倍	0.3倍	1倍	4倍	10倍	25倍	47倍	71倍	78倍

※「重症化率」は、新型コロナウイルス感染症と診断された症例（無症状を含む）のうち、集中治療室での治療や人工呼吸器等による治療を行った症例または死亡した症例の割合。

区内商店も  
家計も応援♪

## プレミアム付商品券を追加販売します

商工振興課

予算額 262百万円

区内商業の活性化及び消費喚起を促すことを目的として、4月より、かつしかプレミアム付商品券12万セットを販売（申込締切5月23日）しました。発行予定数を大幅に上回る応募があり、好評を博しているため、10万セットを追加販売します。



葛飾区商店街連合会

発行総額	<b>12億円</b>
販売総数	<b>10万セット（1人5セットまで）</b>
プレミアム率	<b>20%</b>
販売価格	<b>1セット（500円×24枚＝12,000円） を10,000円で販売（最大5セットまで）</b>
商品券内訳	<b>1セット24枚綴りのうち一般商店専用券14枚 大型店・一般商店併用券10枚 （対象店舗 1200店舗以上）</b>
使用期間	<b>令和6年11月1日(金)～令和7年1月31日(金)</b>



5セット購入で

**最大10,000円分  
お得!**

区内商店も  
家計も応援♪

# かつしかPAY (デジタルプレミアム付商品券) を増刷します

商工振興課

予算額 58百万円

区内商業の活性化及び消費喚起を促すことを目的として、8月上旬より申込開始を予定している「かつしかPAY (デジタルプレミアム付商品券)」につきましても、当初の販売数2万セットに加え、新たに2万セット増刷をします。

規模  
拡大

発行総額	2億4千万円
販売総数	2万セット (1人2セットまで)
プレミアム率	20%
販売価格	1セット (12,000円分) を10,000円で販売 (最大2セットまで)
商品券内訳	大型店・一般商店 全額併用 (対象店舗 約500店舗)
使用開始(予定)	令和6年10月

2セット購入で

最大4,000円分  
お得!

かつしか  
PAY

葛飾区商店街連合会

# 街のお店を応援！ キャッシュレス決済で最大15%還元

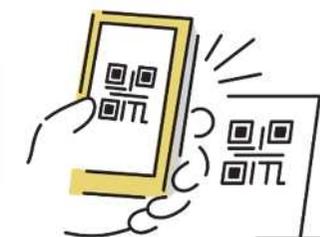
商工振興課

予算額 1,121百万円

区内中小規模の店舗を応援するため、既存のキャッシュレス決済を対象店舗で利用した区民等に対して最大15%のポイント還元を実施します。

## 還元額 約10億円！最大15% 戻ってくる

	キャッシュレスポイント還元事業
キャッシュレス決済総額	約66億円
対象キャッシュレス決済	楽天ペイ、au PAY、d払い、ほか調整中
付与上限 (1決済事業者当たり)	3,000円相当/回 (10,000円相当/期間中)〔不課税〕
還元率	最大15%
対象店舗	区内の中小規模の店舗 ※大型店、大手チェーン店等は対象外
キャンペーン期間 (予定)	令和6年12月1日(日)～令和7年1月31日(金) ※予算額に達した場合、キャンペーンを早期終了することがあります。



葛飾の**ココ**に注目！  
(補正予算案以外のトピックス)

## 防犯対策助成を共同住宅向けにも拡充します

全国的に高齢者などをターゲットにした特殊詐欺や強盗事件などが増加しています。令和6年度当初予算において、個人住宅（戸建て・マンション）の防犯対策を強化する「**住まいの防犯対策助成**」を新設しました。今回、**共同住宅への防犯対策助成をメニューとして拡充**することで、防犯抑制効果をより一層高めていきます。

### 助成制度の対象と補助額

申請主体	助成対象	補助額
<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸建て住宅</li> <li>・マンション※世帯ごと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・録画機能付きドアホン</li> <li>・防犯カメラなど</li> </ul>	<b>上限 4 万円</b> <sub>(1/2 補助)</sub>

新たに実施

申請主体	助成対象	補助額
<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同住宅の所有者</li> <li>・管理組合等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯カメラ (建物外の敷地や駐輪場への設置)</li> </ul>	<b>上限 50 万円</b> <sub>(1/2 補助)</sub>

令和6年7月から申請受付（予定）

## 「くらしのまるごと相談窓口」を開設して1年が経ちました

くらしのまるごと相談窓口とは、「どこに相談していいかわからない」、「くらしの全般に不安がある」といったお困りごとに対し、**年齢や収入、障害の有無などにかかわらず**、生活上の様々な不安や課題を、世帯単位等でまるごと受け止め、福祉の専門職員が寄り添いながら**一緒に解決策を考える**窓口です。

令和5年5月8日に開設し、現在も多くのご相談をお受けしています。

令和5年度実績【電話相談が981件、窓口相談が845件】

合わせて**1,826件**

こんなご相談がありました

「経済的困窮」、「住まい」、「病気」、「障害」、「家族関係」、「介護」、「就職活動」、「債務」、「家計管理」、「メンタルヘルス」、「支援機関との関係」、「社会的孤立」、「子育て」、「DV・虐待」、「自死企図」、「就職定着」、「ひとり親」、「外国籍」、「けが」  
そのほか「被災」、「不登校・非行」、「中卒・高校中退」  
など、お困りごとは多岐にわたっています。



## ご相談の一例

<p><b>ヤングケアラーへの支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済的困窮</li> <li>・ 病気</li> <li>・ 介護</li> <li>・ 障害</li> <li>・ 不登校</li> </ul>	<p>本世帯にかかわっている支援機関は多数あるが、機関を越えた連携や情報共有ができていませんでした。くらしのまるごと相談課が多機関連携のための支援会議を複数回行い、各機関の支援の方向性を相互に確認し、負担を軽減するためのサービス利用につなげるとともに、本人世帯を多機関で見守る体制をつくりました。</p>
<p><b>能登半島地震避難世帯への支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被災</li> <li>・ 経済的困窮</li> <li>・ 住まい</li> <li>・ 病気</li> <li>・ 社会的孤立</li> </ul>	<p>土地勘のない葛飾区での生活の不安感を解消するため、自治会や関連機関との交流会を企画し、地域とのつながりづくりを支援しました。また、訪問等により、各世帯の困りごとに個々に寄り添いながら、適宜、必要な情報提供を行っています。</p>
<p><b>経済的困窮世帯への支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経済的困窮</li> <li>・ 住まい</li> <li>・ 債務</li> <li>・ 家族関係</li> <li>・ 社会的孤立</li> </ul>	<p>くらしのまるごと相談課の訪問についても消極的な対応でしたが、職員が粘り強く訪問を重ね、趣味等の地域活動に同行をする中で信頼関係を築き、経済的な支援につなげ生活全般の向上を図ることができました。</p>

- 相談内容に応じて、**他部署や各支援機関と連携**し、解決につなげていきます。
- ご相談の一例にもあるとおり、**一つのお困りごとでも複数の要因**が関連しています。  
くらしのまるごと相談課を中心とした包括的な支援体制の強化などを推進することで、より安心して暮らすことができる葛飾区を目指します。

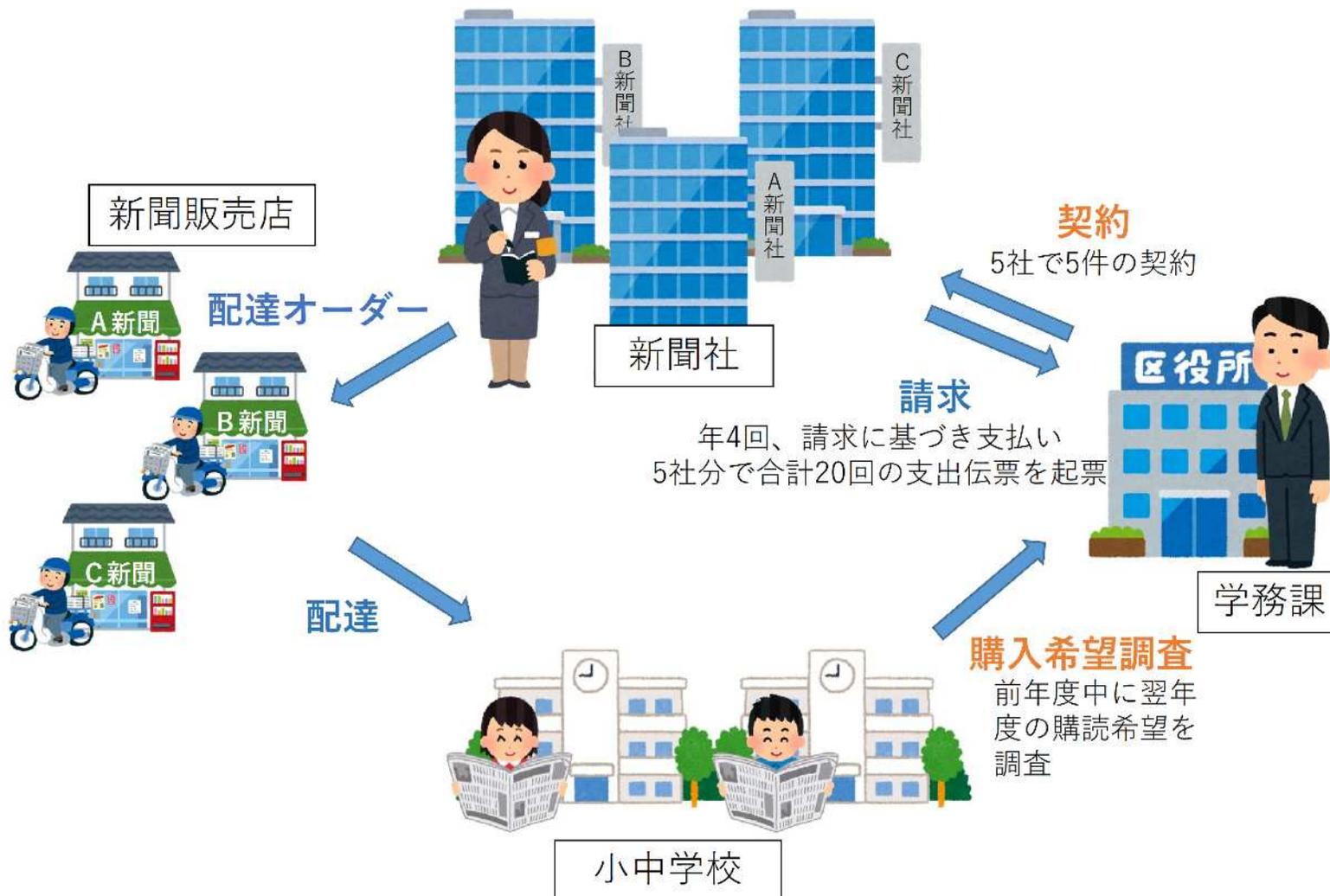
全国の小中学校に広がる新聞配備の新技术

「葛飾方式」が注目されています！

全国初！

# 葛飾方式とは？

2023年度より区内全小中学校（74校）の購読希望紙を集約し、区教育委員会が新聞社と直接契約を結ぶ「葛飾方式」を導入。学校ごとに新聞販売店と契約するこれまでの手法に比べ、事務手続きが劇的に簡略化された。他自治体からの問い合わせもあり、関心が寄せられている。



# 葛飾方式のここが凄い

【導入メリット】



## ●学校(74校)

新聞購読の契約・支払い事務が無くなる  
学校図書館の新聞が充実する  
新聞を活用した授業が実施しやすくなる  
生徒の読解力・リテラシー向上が望める



## ●新聞社

小中学生が新聞に接することができる  
若年層の新聞離れを防ぐ



## ●学務課(教育委員会)

第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」の目標を達成できる  
新たに契約・支払い事務が発生するが、各学校からの支出命令審査が減る



## ●新聞販売店

各学校との契約・請求事務がなくなる  
新聞の販売数が増える  
事務の簡略化と売上向上の両立

# 学校司書の声

導入から1年が経過した今、新聞が身近になったことにより学校司書からさまざまな声があがっている。

新聞を読む機会、時間が増えたことで、興味をもった記事について質問をしてくる生徒が増えた。導入するまではそういったことはなかった。

「まわしよみ新聞コーナー」を設置したことにより、立ち止まって読む生徒が増えた。このコーナーをきっかけに生徒と会話することも増え、他の生徒も集まるスポットになった。



「こんな記事が載っていたよ」と伝え、「何日の記事に載ってたの？」と内容を聞くだけでなく、自ら進んで読もうとする生徒も増えた。

月面探査機の記事について、先生と生徒達が盛り上がり、先生からは過去の探査ではこんなこともあったんだよと、それに関連する話を生徒に聞かせている状況が、とても印象的だった。

まずは学期に1度でも、朝読書を新聞に置き換える日を作りたい。メインの記事だけでもいいので、新聞を読むことに慣らしていきたい。

# 浸透する学校新聞とその効果

2024年度は5紙との一括契約を行い、その中から小学校は2紙、中学校は3紙選択している。

また、ただ新聞が配備されて終わらぬよう、各校では生徒に新聞への興味を持ってもらうため、様々な工夫が施されている。

例えば葛飾区小松中学校では、

図書委員の生徒たちが昼休みを利用して新聞を読み、気になる記事に付箋を貼る。その中からいくつか「図書委員が選んだ、ちょっと気になる新聞記事」を選定し、掲示している。

生徒参加型のイベントとして、スポーツ世論調査の記事を掲示し、「パリ五輪で日本人選手のメダルが期待できる競技・種目はどれか」と、生徒を対象にした「世論調査」を実施した。

新聞により、普段見慣れない情報から新しい興味を発掘すること、活字を日常に取り入れることによる読解力向上など、新聞が生徒へもたらす効果に今後期待していきたい。